TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

信仰から繁栄へ

コロサイ人への基本事項：心の平安を得る

2024年4月20日 & 21日
ジェシー・マーク・セザリオ牧師

ご挨拶
TBC ウエスト・トウキョウ、TBC 三郷、福岡インター ナショナル教会、スバ・バプテスト教会、トンガ・バプテ スト教会をはじめ、共に礼拝に参加されているみなさんにご挨拶申し上げます。今日も神の恵みがありますように。

お祈りしましょう。

コロサイの信徒への手紙 1:21-23
21 あなたがたも、かつては神から離れ、悪い行いによって心の中で神に敵対していました。*22* しかし今や、神は御子の肉の体において、その死を通してあなたがたをご自分と和解させ、聖なる、傷のない、とがめるところのない者として御前に立たせてくださいました。23 ですから、あなたがたは揺るぐことなく、しっかりと信仰に踏みとどまり、あなたがたが聞いた福音の希望から離れてはなりません。この福音は、天の下のすべての造られたものに宣べ伝えられており、私パウロはそれに仕える者となったのです。

はじめに

前回のメッセージで話したキリストの至高性に続いて、パウロは世界の和解の話から、それがどのように、またどこ(教会)から始まったのか、特にその過程においてコロサイの信徒とコロサイの教会がどのように加わっていたかという話に移ります。

パウロはコロサイの信徒にいくつかの重要なポイントを教えます。コロサイの信徒たちは以前どのような人間だったのかと、どのようにして贖われたのか。そして、パウロ自身の奉仕者としての役割と、目的、どのようにそれを達成しようとしているか。聖書から信徒として何をするべきか学ばなかったら、私たちは時間を無駄にしています。このコロサイの信徒への教えは、私たちへの教えでもあります。

ここでパウロが説いていることを学ぶに当たって、私たちも自分がどこへ向かっているのか、どうあるべきか、そしてどうやってそこに到達するかを自問すべきです。

キリストを信じるみなさん、あなたは自分がどこに向かっているのか、自分の目標は何か分かっていますか。そして、同じくらい大切なのは、どのようにその目標に到達するか分かっていますか？

まずは聖句の復習
まず今日の聖書箇所を正しく理解するために、パウロがこれまでに何を話していたかを思い出さないといけません。パウロはコロサイで生まれたばかりの教会にこのように教えていました。神はイエスを通して「…私たちを闇の力から救い出して、その愛する御子の支配下へと移してくださいました。」(コロサイ1:13)。

これはどういう意味でしょうか。

キリストの内にいない人は闇の力の内に囚われています。囚われていることが分かる理由は、その聖句でイエスは私たちを覆う力から—つまり闇の力から—私たちを救い出さなければならなかったと言っているからです。

パウロは 21 節でこのように言いました。「あなたがたも、かつては神から離れ、悪い行いによって心の中で神に敵対していました。」

つまりキリストに属さない人は、神の敵です。心のありさまと考え方によってそうなっています。

神の敵でいるのは、頭と心の中にあるものによってそうなります。

では、キリストの内におらず、キリストの御国に属さない人は、どこに属しているのでしょうか。パウロは21節と13節でその人に働きかける外的な影響や力について言及しています。

この力とは何でしょう。ヨハネの手紙一5:19後半は「全世界は悪い者の支配下にある」と説明します。

NKJV(ニューキングジェイムスバージョン)では「支配」という言葉に「sway(統治)」という英単語を使っていますが、原文には「sway」という言葉は使っていません。ほとんどの近代英訳聖書は、悪の力がどのように働いているか表現するのを補うべく、様々な英単語に置き換えています。NIVでは「control(コントロール)」、ESVでは「power(パワー)」と訳されています。

私は「sway」という表現が好きです。「sway」は体を左右に揺らすという意味もあります。人が悪魔に魅せられて、悪魔と踊っているかのようです。悪魔が左に揺れると、人も合わせて左に揺れる。悪魔の動きに合わせて、人も真似して踊ります。悪魔の魅力に完全に囚われ、悪魔に注目されることを楽しんでいます。ヨハネの福音書3:19は「光が世に来たのに、人々はその行いが悪いので、光よりも闇を愛した…」と言っています。

私たちの心は以前このように歪み、惑わされていました。パウロはこれをコロサイの信徒たちに思い出させました。コロサイの信徒たちのように、私たちも闇と悪魔の踊らせ方と恋に落ちていました。

これが飛躍して聞こえるのは承知しています。どうしてこのようなことが起きるのでしょうか。どうして悪魔に屈服し、神に敵対するようになってしまったのでしょうか。

例
1973年、スウェーデンのストックホルムで銀行強盗が起こりました。二人の前科者が銀行に押し入り、店舗を封鎖、4人の人質を取り、6日間立てこもりました。犯人が逮捕された後、人質が犯人を守り助けるようなことを言い始めました。人質となっていた人たちは、加害者である彼らを気遣うような気持ちを抱くようになっていました。それだけではなく、警察が犯人を不当に扱っているとさえ言い出したのです!

人質や虐待の被害者が自分を監禁・虐待している人に対して好意的な感情を抱くようになるこの現象は、その後ストックホルム症候群と呼ばれるようになりました。このようなことは起こりえます。現に起こりました。

人はこのように、邪悪なものによって、精神的に混乱します。混乱のあまり、囚われた状態を楽しむようになり、自分を監禁しているもの、つまり悪魔に対して好意を抱くようにすらなります。悪魔はそんなに悪者ではない、と思うようになります。しかしそうすることで、人は神の敵になります。

聖書では私たちの救助者であるイエスについてこのように書いてあります。「それは、ご自分の死(これが代償です!)によって、死の力を持つ者、つまり悪魔を無力にし、」(ヘブライ人への手紙2:14)。

私たちは神から遠ざけられ、囚われて、関係を絶たされていました。いまはそうでありません。私たちを捕獲していた者から解き放たれました。

さて、ここで質問です。あなたはこれを信じますか。

なんでそんなことを聞くのだろう、と思っているかもしれません。もちろん信じています、と。

質問した理由は、私たちは忘れっぽくて、昔の習慣や癖に戻ってしまいます。また時として、その昔の習慣や癖による恥につまずきます。パウロはコロサイの信徒たちにも、私たちにも、過去に戻ってほしくありません。

これが真実です。繰り返し聞く必要があります。

イエスは死の力を持つ悪魔を無力にされ、悪魔に勝利し、私たちの恥は取り除かれました。光よりも闇を愛していたという恥です。私たちは全員そうしていましたが、キリストによって罪から贖われました。

「22 神は御子の肉の体において、その死を通してあなたがたをご自分と和解させ、聖なる、傷のない、とがめるところのない者として御前に立たせてくださいました。」

過去を振り返ってしまう人がいるのは知っています。過去の心配は止めましょう。あなたは神の御子によって、聖なる、傷のない、とがめるところのない者とされました。それがあなたの向かっているところであり、あなたの人生におけるキリストの働きです。私たちは信仰によって、前進し続けないといけません。

注意して欲しいのは、自分が自分を聖なる、傷のない、とがめるところのない者とすることはできません。それはあなたの働きではありません。

キリストの御業によって、神の御前に聖なる、傷のない、とがめるところのない者として立つことができるのです。

神様はあなたがどこから来たか、どれだけ罪深かったかご存じです。あなたが犯した全ての罪も、あなたがこれから犯す全ての罪もご存じです。だからこそ、聖書にはこうあります。
「しかし、主イエス・キリストの名と私たちの神の霊によって洗われ、聖なる者とされ、義とされたのです。」(コリントの信徒への手紙一6:11後半)

この聖句にある受動態(何々をされた)に注目してください。全てあなたのためにされたのです。そして、それはキリストにおいて既に成し遂げられています。主の御業が約束していることに心を留め、前進し続けましょう。たとえ物事が後退しているように感じたとしても。

微妙な表現

さて、22節でパウロは「御子の肉の体において、その死を通して」という微妙な表現をしています。

どうして「御子の肉の体において」と言わないといけなかったのでしょうか。

グノーシス派は何でも過剰に霊的にするのが大好きでした。その理由は、彼らはどんな物も全て邪悪であると信じていて、人類の存在すら邪悪であると教えていました。

これはクリスチャンになったばかりの人を混乱させるかもしれません。世界が悪の影響下にあるという観点からすると得にそうです。

しかしパウロはこれに反論しています。パウロはイエス・キリストを通して、全ての物は神のために神によって造られたと説明しました。そしてイエスを通して、人類も含めて全ての物は回復させられています。ですから、グノーシス派の考えは間違っています。

なぜでしょうか。聖書でこうあります。

「しかし、神の霊があなたがたの内に宿っているなら、あなたがたは肉の内にではなく、霊の内にあります。キリストの霊を持たない者は、キリストに属していません。」(ローマの信徒への手紙8:9)

聖霊の内に生きるなら、肉はもう私たちに影響を及ぼしません。これが、私たちが目指すところです。しかし、簡単なことではありません。

グノーシス派は、まだこの肉体という物質の内に閉じ込められているから、まだ邪悪であり、逃れることはできない、と言うでしょう。そして、悪気がなければ罪を犯しても問題ない。それは普通のことで、それが人生だ、と言うでしょう。

その考え方は間違っています。聖書はそのようなことを教えていませんし、それは福音ではありません。聖書は罪を容認しないし、決して問題ない

なんて言いません。キリストによって自由にされても、です。

「では、どうなのか。私たちは律法の下ではなく恵みの下にいるのだから、罪を犯そう、ということになるのでしょうか。決してそうではない。」(ローマ6:15)

グノーシス派の主張にも正しいところはあります。それは、私たちはまだ罪を犯してしまう、という点です。私たちには問題があります。大問題も！

ここで質問です。私たちがキリストの体なら、どうして教会に悪が存在し得るのでしょうか。悪はどこから来るのでしょう。

悪がどこから来るのか知りたいですか？悪はあなたの頭の中にあります。それが問題なのです！

「なぜなら、肉の思いは神に敵対し、神の律法に従わないからです。従いえないのです。」(ローマ8:7)

私たちの「思い」は何からできているのでしょうか。「肉」です！これは私たちが持っている二面性です。混乱のもとです。
私たちはまだ悪魔の友達ですか。闇に共感し、問題ない、と考えますか。

ストックホルムの銀行強盗の人質の一人は、犯人と友達でい続けました。私たちは闇と親交を保ってはいけません。光は闇とは無縁です。

だから、罪は問題ないことはありません。それはグノーシス派が教えようとしていたことです。もしあなたは、神が何とかしてくれるから罪を犯しても大丈夫と思っているなら、あなたはグノーシス派の狂った考えと同調しています。

問題は頭(心と考え)に起きており、あなたはそれを許しています。

小さな例
この間、めずらしく Facebook を見ていたら、ビデオが自動再生され始めました。そのビデオではある兵士が、人の心を操るのは、自分の心を操るほど難しくない、と言っていました。これは人を指導し、制御する訓練を受け、経験を積んだ兵士の見解です。彼は自分自身の心を制するのに比べて、他人を操るのは簡単だと知っています。

イエス・キリストにおいて私たちが得られる力に気付いていますか。イエスは私たちに、最も制するのが難しいもの、つまり肉の思いを制する力と神の御霊をくださっています。

私たちは思います。。。どうやって？聖書ではこうあります。

「心の霊において新たにされ、真理に基づく義と清さの内に、神にかたどって造られた新しい人を着なさい。」(エフェソの信徒への手紙 4:23-24)

だからグノーシス派は聖書に同意しないのです。特に肉体は無価値だと考えるからです。彼らは、肉体は心の延長であり、私たちは生きた捧げものとして体を使い、神と隣人を愛することを通して、神を礼拝したたえることができると知ることができませんでした。

私たちは、新しくされた人たちとしてそうするように召されています。

パウロはコロサイの信徒たちに思い出させました。私たちと同様に、彼らも心と考えにおいて神の敵でした。しかし、今は上にあるものを思えるように、自由にされました。だから「肉に従う者は肉のことを思い、霊に従う者は霊のことを思います。」(ローマ8:5)

これがクリスチャンの訓練です。心と考えの中にあります。訓練をすれば、死んだ肉が自然にしたくないことを、できるようにさせることができます。私たちの肉体は変わっていません。でも心は変えら

れ、今も変えられ続けています。私たちが分かっているように、戦いは心の中で起っています。

もし、・・・・たら・れば

さて23節は分かりにくい聖句です。この節は一部の英訳では「If」ではじまっているため、多くの人が、この節を読んで、「もししっかり信仰にふみとどまれなかったら」救いを失ってしまうことがあるんだ、と思ってしまいます。そういう意味ではありません。この聖書箇所は、信仰がある人の成熟について述べています。

「22 しかし今や、神は御子の肉の体において、その死を通してあなたがたをご自分と和解させ、聖なる、傷のない、とがめるところのない者として御前に立たせてくださいました。23 ですから、あなたがたは揺るぐことなく、しっかりと信仰に踏みとどまり、あなたがたが聞いた福音の希望から離れてはなりません。この福音は、天の下のすべての造られたものに宣べ伝えられており、私パウロはそれに仕える者となったのです。」

ギリシャ語では「If」で始まる文には4つの違った意味合いがありえます。その意味合いは動詞と他の言葉の書かれ方によって違ってきます。なので、ギリシャ語では簡単に表現できることが英語では難しくなります。

1. 絶対起こりえないという「If」:あるわけないじゃん！と馬鹿にしているようなものです。

2. たぶんいつか起こるだろう、という「If」:もし起こるとしたら、この時・・・といった感じです。

3. ほぼあり得ないと推測される「If」:真夏に「明日雪が降ったら、試合は中止。」と言ったら、だれでも試合は中止にならないと知っています。

4. 条件によっては真実になり得る「If」:この「If」の良い例は、サタンがイエスを誘惑しようとした時に「神の子なら、飛び降りたらどうだ。」と言いました。

さて、23節の「If」はどれでしょう。答えは四つ目です。つまり、パウロはこれが真実であると想定しています。

「神が味方なら、誰が私たちに敵対できますか。」（ローマ 8:31）神様は味方だと知っています。だから、私たちは信仰に踏みとどまることができます。

もし踏みとどまれなかったら？

もし踏みとどまれなかったら？と思っている人がいると知っています。調子の悪い日やうまくいかない日に、信仰に欠けてしまったら？

つい過去の悪い習慣に負けてしまったら？

これは誰もが経験したことがあると思います。

誰もが人生を振り返って、「あの時は完全に失敗した。全然神様に栄光を帰せなかった。」という出来事があるでしょう。

これからも失敗することがあるでしょう。神様、助けてください！

でもこれは、どういうことでしょう。いい質問です。これは今日の適用につながります。

適用：心の平安を得る

適用1：自分の信仰を疑ってはいけません。

パウロは、私たちの内に業をなされた神様は、それを既に成し遂げられることを知っていました。パウロは、私たちの間で善い業を始められた神が、その業を完成してくださる、と知っていました。この真実をフィリピの信徒への手紙で教えました。パウロはこの真実を信徒に注視させただけではなく、自分自身にも適用しました。

パウロはテモテにこう言いました。

「主は私を、あらゆる悪い行いから助け出し、天の御国へと救い入れてくださるでしょう。」(テモテの手紙二4:18)

パウロも葛藤したと思いますか。パウロ自身が葛藤していたことを認めています。この地上に生まれた人で完璧な人はいません。パウロは自分の肉の思いが、自分に敵対していたことを知っていました。しかし同時に、自分の努力に希望を持つのではなく、信仰に希望を委ねました。そうすることでパウロは平安を保ちました。

だから私たちは、救いは神の恵みによる贈り物であり、自分の働きによって救われたのではない、という原点に繰り返し戻らないといけません。肉の思いが何と言おうが。

覚えておいてください。あなたの肉の思いは、常にあなたを間違った方向に導こうとします。

「肉の思いは死であり、霊の思いは命と平和です。」(ローマ8:6)

適用 2:肉の思いがたわごとを言い出して、自分の救いや神の御言葉、神がそばにいることや、神のあなたへの愛を疑う気持ちが出てきたら、即座に「うるさい！それは嘘だ！」と言いましょう。疑いが消えるまで、真実を訴えましょう。

「聖書は神はそばにいると言っている。神は私を愛してる。その御子を私の身代わりに死なせたほどに。キリストは決して私から離れない。私はイエス・キリストにおける信仰によって救われた。私がしたどんなことも、しなかったことも、肉の思いが言うどんなことも、私からイエスを離すことはできない。」と言いましょう。

神の御霊の言っていることです。自分の心が言っていることとは違います。

聖書は自分の思惑をとりこにしなさいと教えています。

「神の知識に逆らうあらゆる高慢を打ち砕き、あらゆる思惑をとりこにしてキリストに服従させ、」(コリント二10:5)

これは、自分の思考を聖書の教えに従うように力ずくで説得するということです。

そのため、私たちも真実の御言葉や神の約束に反する考えを捕え、霊の思いに集中するようにしましょう。

適用3:聖霊の内に考える。

聖霊の内に考えられるようになるまで、聖霊の内に歩むことはできません。
「なぜなら、肉の思いは神に敵対し、神の律法に従わないからです。従いえないのです。肉の内にある者は、神に喜ばれることができません。」(ローマ8:7-8)

聖霊の内に考えられるようになるには、思考パターンを変えるか、言い換えると、思考の周波数を変える必要があります。

肉の思いは死と闇に集中します。霊の思いは命と光に集中します。

パウロがフィリピの使徒への手紙で教えていたことです。「なお、きょうだいたち、すべて真実なこと、すべて尊いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判のよいことを、また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい。私から学んだこと、受けたこと、聞いたこと、見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神があなたがたと共におられます。」(フィリピ 4:8-9)

心と考えを従えさせれば、私たちの肉も従います。これが、聖霊の内に歩む方法です。

あなたは聖霊の内に歩んでいますか。

神は「…御子の霊を、私たちの心に送ってくださったのです。」(ガラテヤ 4:6)
それによって、私たちはまず聖霊によって考えて、次に聖霊によって歩むことがきます。

人間は神から遠ざけられ、心の中で神に敵対していて、それによって囚われているなら、私たちは見て見ぬふりをして、福音を伝えないことはできません。囚われている人たちを解放しましょう！

パウロは明らかにされた神秘、つまりキリストが私たちの内に住み、私たちと永遠に共にいてくださるという真実を全ての人に伝えたかったのです。それがパウロの奉仕の最終目的でした。

どうしたら自由になれるか、他の人に教えないことはありえません。

周りの人を見てください。束縛され、鎖につながれ、罪と死、悪魔の奴隷でいる人たちを。何を待っているのでしょうか。すぐに福音を伝えましょう。

福音を伝えるのに気乗りがしない人のためにアドバイスします。聖書の教えを実行したら、福音を伝えたくなるのではないでしょうか？

私たちは良い商品があったら、他の人に教えてあげたくなります。何よりも素晴らしいこの良い知らせを、他の人にも教えてあげましょう。

神との和解、そして永遠の命という神の約束です。

適用4：刈り入れを待っている畑は囚われている人たちでいっぱいです。私たちは天の下にいる全ての生き物に解放の福音を宣言しなければいけません。イエスが、彼らの唯一の希望です。

「主は私たちにこう命じておられるからです。／『私は、あなたを異邦人の光とし／地の果てにまで救いをもたらす者とした。』」(使徒 13:47)

福音を伝えましょう！

招待

もしイエスをあなたの救い主とする信仰をもっていないのであれば…

自分では気がついていないかもしれませんが、あなたは囚われの身です。あなたは邪悪なものに支配され、魅入られ、光よりも暗闇のほうがあなたを満たしてくれると信じています。それは真実ではありません。暗闇に満足することはありません。暗闇の内に、決して満足することはなく、求め続けることになります。

イエスは言います。
「私は世の光である。私に従う者は闇の中を歩まず、命の光を持つ。」
「私を信じる者が、誰も闇の中にとどまることのないように、私は光として世に来た。」

御子を信じましょう。イエスがあなたがたを自由にすれば、あなたがたは本当に自由になり、満ち溢れる永遠の命という贈り物が与えられます。

祈りましょう。

ジェシー・マーク・セザリオ牧師
東京バプテスト教会
2024年4月20&21日

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1724jp

★クラス 301
自分の賜物発見クラス
4 月 27 日（土）1:30pm – 5:30pm
参加条件: クラス 101&201 を修了した方

★クラス 401
人生の使命を発見する
5 月 11 日（土）1:30pm – 5:30pm
参加条件: クラス 301 まで修了した TBC 教会員

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター
月 2～各礼拝の時間帯 1 スポットの日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4．日本語訳レイアウト&印刷（女性募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。
英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org